

ようこそ、はなさ びなん その  
咲ける美男の園へ!

この展覧会には、江戸時代から現代までのいろいろな「美男」が集まっています。

実はこういう展覧会、今までほとんどなかった、けっこう斬新な企画なんだ。

みんなは、「美人画」ってきいたことある? きれいな女性を描いた絵のことだよな。

男性にも女性にも人気のあるジャンルだけど、描いたのもプロデュースしたのも、

ほとんどが男性だったんだ。逆に、ボクみたいなイケメンを描いた絵が「美男画」とか

「美人画」とよばれることはなかったし、女性が「美男」を描いて発表する機会も、

最近まであまりなかったらしいよ。

とはいえ、今のボクたちが見て「すばらしい!」って思える絵は昔からたくさんあったし、

最近は男性作家も女性作家も、個性的な男性像をどんどん生み出しています。

このガイドでは、そんな彼らの魅力をボクがちよっとだけ紹介するね!



木村了子《夢のハワイー Aloha 'Oe Ukulele》2016(平成28)年 作家蔵 撮影:宮島徑



乃希《出陣》2021(令和3)年 益田市



さいごに、ご当地イケメンを紹介するよ! 益田市出身のイラストレーター・乃希と  
地元の高校生たちが、益田の武将たちをキャラクター化したんだって。

メガネ男子とかキツネ耳とか、自由でいいなあ〜。

これからも、色んな表現がどんどん出てくると楽しいよね!

さて、「美男」をめぐるガイド、楽しんでいただけたかな?

「男の美しさ」ってなんだろう? 「美人画」を見る時と「美男画」を見る時の気分って、

なにか違うかな? ……とか、あれこれ考えてもらえると、ボクもうれしいな。

前期・後期でメンバーチェンジもあるから、ぜひ何回でも、遊びにきてね!

#### おまけ情報

同時期のコレクション展【「美人」をうつす】(11月18日~1月10日/展示室C)は、  
美人画の特集らしいよ! こちらも要チェック!

#### 島根県立石見美術館

〒698-0022 島根県益田市有明町5-15 島根県芸術文化センター「グラントワ」内  
tel : 0856-23-2050 fax : 0856-31-1878 <http://www.grandtoit.jp/>

かんしょう  
鑑賞ガイド

2021

11.27.土

2022

→1.24.月

前期 | 11月27日(土)~12月20日(月)

後期 | 12月22日(水)~1月24日(月)

開館時間 | 9:30~18:00  
(展示室への入場は17:30まで)

休館日 | 毎週火曜日、  
2021年12月28日(火)~2022年1月2日(日)

グラントワ  
Grand Toit

企画展  
美男  
おあ  
にあ



唐仁原希《旅に出る虹の子ども》2020(令和2)年 作家蔵





前期展示

たにおんちやう ちごもんじゅぞう  
谷文晁《稚児文殊像》(部分)  
19世紀(江戸時代後期) 東京国立博物館  
Image: TNM Image Archives

「三人寄れば文殊の知恵」の文殊様だけど、獅子にのってるのは少年。え？コスプレ？まあ、そういう見方もできるか……でもね、経典にも文殊は童子の姿だっという記述があるらしいよ。それに、大人ではない少年という存在に、神秘的な力を感じていたんじゃないかな。



いりえあすか こうもくてん  
入江明日香《廣目天》  
2016(平成28)年 丸沼芸術の森

ぶつきやう しゅごしや  
仏教の守護者を少年として描いた作品は、現代にもあるよ。かわいくて、りりしい！大人の男にはない魅力があるね。表紙の絵(唐人原香《旅に出る虹の子ども》)もそうだけど、「特別な力を持つ戦う少年」は、マンガやアニメでもおなじみのキャラクターだね。「美少年」に期待するイメージは、昔も今も、あまり変わらないのかも。



後期展示

たかばたけかしやう  
高島華宵《うららか》1933(昭和8)年 弥生美術館



高島華宵は、美男、美女どちらも得意な画家。美人画でもよく見る桜の下という場面に美少年をあてはめた、ロマンティックな絵だね。ちなみに、こういう前髪を剃らない髪型をした若い男子は、江戸時代、「若衆」とよばれて、男からも女からもアイドル的に愛されていたらしいよ。ほかの絵にも出てくるから、さがしてみよう！



よしだふきこ  
吉田美希子《風がきこえる》  
2021(令和3)年 撮影:吉本和樹



どこを見て「美男」と思うかは人それぞれだけど、「やっぱり顔でしょう！」ってことで巨大な立体にしちゃったのが、この作品。なんと高さ2メートル以上！イケメンの顔をすごいアップで見つめるようなシチュエーションに、ドキドキするね。



後期展示

つきおかよしとし かいだいひやくせんそう しげのさえもんのすけゆきむら  
月岡芳年《題百撰相 滋野左工門佐幸村》  
1968(明治元)年 町田市立国際版画美術館



でました有名人、真田幸村！傷ついた部下をいたわるカッコよくてやさしい殿様に、惚れちゃいそう♡  
月岡芳年は「血みどろ絵」とよばれた、流血の場面で人気の浮世絵師。このシリーズには、もっとショッキングな絵も……ギャーっ！

前期展示

だいしやう まいず  
絵師不詳《大小の舞図》  
17世紀(江戸時代初期) 板橋区立美術館



戦う男だけが、いい男じゃないよね～。  
はなやかな衣装でおどる美少年アイドルは、江戸時代からいたんだよ。

